

管理番号

030494

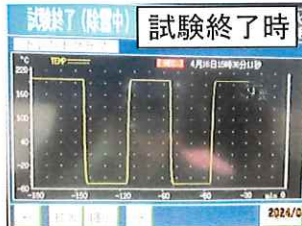
動作確認チェックシート (冷熱衝撃試験機)

《温度範囲》	
-65~0°C / +60~200°C	
内寸法(W×D×H)	32x23x13cm
外寸法(W×D×H)	68x105x163cm
常温さらし	不可
冷凍機冷媒	R404A 1.0kg R508A 0.7kg

検査日	2024年 4月 16日		
型式	TSE-11-A	電源電圧	3相200V26A
メーカー名	エスペック	周波数	(50)・(60)Hz
機械Ser.No	161001009	予熱上限	200°C
製造年月	2007年 月	予冷下限	-80°C

チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キャスター・パッキン・ゴム栓・スイッチ等に著しいキズ・破損はないか。	○
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	○
3 SW設定	温度設定SW・その他SWの機能は正常か。	○
4 温度調節機能	仕様温度範囲の調節ができるか。(定置運転)	○
5 プログラム機能	温度制御機能は正常か。(適当な温度を入力し確認する)	○
6 到達時間	温度設定を最大・最小にした時の到達時間。(下欄に記入)	
7 付加機能	安全装置(ファン)・差圧計(リフター)・記録装置・パトライト等は正常か。	○
8 保管・出荷準備	ビス締め・清掃・フィルタの汚れ・入庫元に関するシール等を取り除く。	○
9 確認シール	動作確認済シールを貼る(右側側面上部または機種名板が側面にあるときは、その近く)	○

最高・最低温度到達時間	備考 (動作確認追記事項・不具合内容等)
26°C → 200°C 約 21分	注1. リフターでワークを低温室と高温室間を移動する構造である。アワーメーター31833. 0Hr. 記録計の温度ズレがある。 注2. テストプログラムは、低温さらし-65°C/30分、高温さらし200°C/30分で2サイクル(低温からスタート)を実施。
20°C → -77°C 約 87分	
条件: 槽内試料カゴのみ、Ta≒20°C	



取扱説明書(あり)

修理・改造履歴

年月日	修理・改造記録	作業者

File Maker入力	(備考欄コメント)	[責任者]
動作(OK・NG) 作業工数[10.0 H]	O. K	
検査担当者[小林 隆志]	記録計の校正を推奨します。	
ユーザー名[] 出荷日	年 月 日	